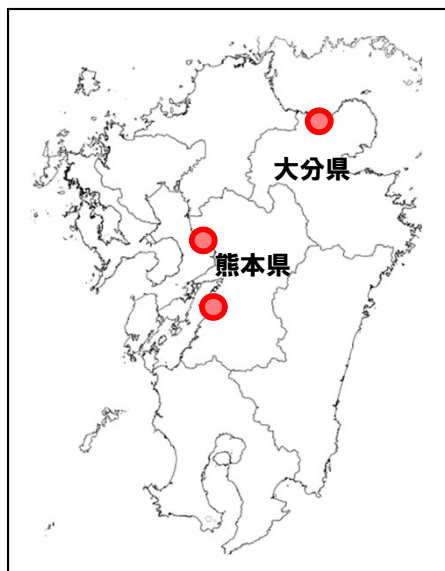


農地海岸事業地区の概要

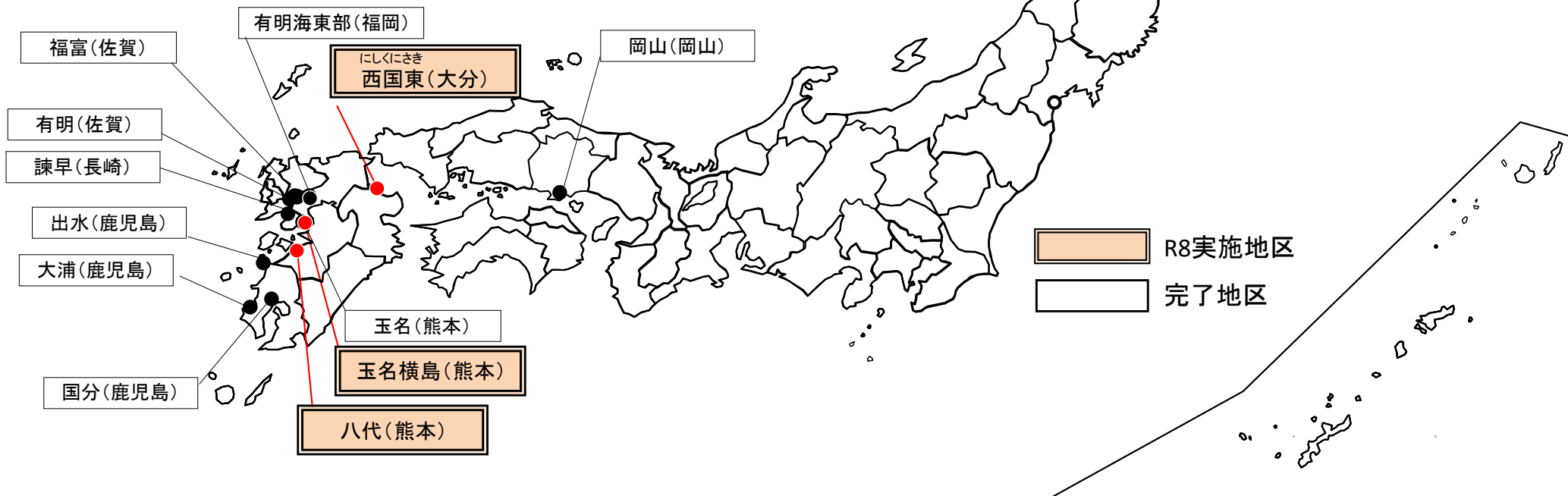
農地海岸 事業実施地区位置図（直轄）



地区名	県名	工期
玉名	熊本	S35 ~ S54
国分	鹿児島	S37 ~ S49
諫早	長崎	S39 ~ S48
大浦	鹿児島	S49 ~ S59
有明	佐賀	S52 ~ H17
岡山	岡山	S55 ~ H13
出水	鹿児島	S59 ~ H11
福富	佐賀	H18 ~ H29
有明海東部	福岡	H5 ~ R2
玉名横島	熊本	H12 ~ R9
にしくにさき 西国東	大分	H30 ~ R18
八代	熊本	R3 ~ R21

■直轄事業

主務大臣は、工事の規模が著しく大であるときや、高度な技術を必要とするとき等の場合において、国土の保全上特に重要と認められるときは、海岸管理者に代わり、海岸保全施設に係る工事を施行することができる。【海岸法第6条】



直轄海岸保全施設整備事業「玉名横島地区（熊本県）」

◎ 目的

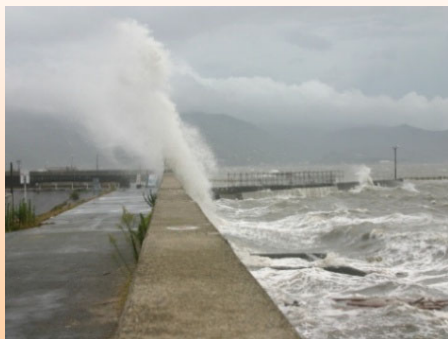
「玉名横島地区」では、国営横島干拓事業（昭和21年度～49年度）により造成された干拓堤防、排水樋門等の海岸保全施設が、地盤沈下に伴う堤防天端不足や老朽化等のため、施設の安全性が低下している。

このため、施設の機能回復を図ることにより、背後地の農地と住民の安全を確保することとともに、農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、併せて国土の保全に資することを目的としている。

関係市	熊本県玉名市
防護面積	2,905ha（農地 2,136ha、農地以外 769ha）
防護戸数	2,421戸
主要作物	水稲、イチゴ、トマト 等
工事計画	堤体工：10.2km、排水樋門：6ヶ所、排水機場：3ヶ所 他
着工年	平成12年度
事業費	総事業費： 31,000百万円

地域の現状

堤防の沈下の進行に伴い、背後地は高潮や波浪からの猛威にさらされている。



2004. 8. 19 台風15号

<機能低下>

施設の沈下の進行に伴い、堤防、排水樋門・機場等の機能が低下している。



沈下により機能低下が生じた樋門・機場

事業の効果



農地・人命・財産等の防護

防護区域には、人口約8,700人、戸数2,421戸、優良農地2,136haが既往最高潮位(TP+3.6m)以下に点在し、これらを防護する。



高付加価値農業の維持

干拓地の農地では、いちご・トマト等の施設園芸が急進。玉名市のいちご・トマトは、生産額が各々全国2位のブランドとして確立。

直轄海岸保全施設整備事業「西国東地区（大分県）」

◎ 目的

「西国東地区」は、国営干拓事業（昭和21年度～44年度）により造成された。現在、後背地では、白ネギ、葉たばこ、落花生等の営農が展開される優良農地となっている。

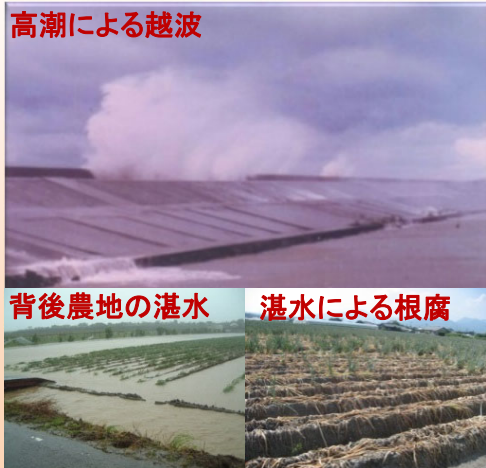
本地域は、南海トラフ地震防災対策推進地域及び周防灘断層帯の影響を受ける地域であるが、現況施設は耐震性能を有しておらず、砂質地盤であるため地震による地盤の液状化が危惧されている。また、海岸保全施設は、造成後60年を経過しており、老朽化が進行し維持管理に支障が生じるとともに、堤防の沈下により高潮による農作物被害が生じている。

そのため、海岸堤防機能の確保を目的とした整備を早急に行い、大規模地震及び高潮による甚大な被害を防ぐ必要がある。

関係市	大分県豊後高田市
防護面積	1,100ha（農地：800ha、農地以外：300ha）
防護戸数	778戸
主要作物	白ネギ、葉たばこ、落花生 等
工事計画	堤体工：7.3km 他
着工年	平成30年度
事業費	総事業費：25,000百万円

地域の現状

軟弱地盤上に築造されていることから沈下し、高潮による越波により農作物被害が発生。



<機能低下>
法面が侵食被害を受け、堤防の強度低下が生じている。



<耐震性能>
耐震性能を有しておらず、大規模地震に対する耐震性能の確保が必要。

維持管理状況

事業の効果



【農地・人命・財産等の防護】

本地区の海岸堤防背後の防護人口1,710人、防護面積1,100ha、優良農地800ha、その他公共施設等を防護する。

【地域特産地化農業の維持】

○背後農地では、地域の特性を活かし、白ネギを中心に高収益作物の作付拡大に取り組んでいる。
○干拓地の農業生産額は31億円で、豊後高田市の約6割を占める。

直轄海岸保全施設整備事業「八代地区（熊本県）」

◎ 目的

「八代地区」は、八代地区は熊本県八代市に跨がるゼロメートル地帯の干拓地であり、用排水施設の整備が進んだ現在では、水稻を中心に、トマト、レタス、ブロッコリー、メロン等の高収益作物を組み合わせた複合経営が展開される優良農地となっている。

本地域は日奈久断層帯地震の影響を受ける地域であるが、堤防等の施設は、必要な耐震性能を有しておらず、地震による砂質地盤の液状化被害も危惧されている。また、常襲する台風により常に高潮・高波による農作物等の被害が生じている。

このため、海岸堤防に必要な機能の確保を目的とした整備を早急に行い、大規模地震及び高潮による甚大な被害を防ぐものである。

関係市	熊本県八代市、氷川町
防護面積	5,489ha（農地：3,832ha、農地以外：1,657ha）
防護戸数	8,501戸
主要作物	トマト、レタス、い草等
工事計画	堤体工：5.3km 他
着工年	令和3年度
事業費	総事業費：30,000百万円

地域の現状

軟弱地盤上に築造されていることから沈下し、高潮による越波により農作物被害が発生。

高潮による越波



背後農地の湛水（トマトハウス）



<機能低下>

老朽化により、堤防の強度低下が生じている。



堤体のひび割れ

H28熊本地震による堤体液状化

<耐震性能>

耐震性能を有しておらず、大規模地震に対する耐震性能の確保が必要。

事業の効果



【農地・人命・財産等の防護】

本地区の海岸堤防背後の防護人口36,391人、防護面積5,489a、優良農地3,832ha、その他公共施設等を防護する。



【地域特産地化農業の維持】

○八代市では、水稻を中心にトマト、レタス等の高収益複合経営が展開されており、八代市の農業産出額は363億円のうち野菜は全体の約8割を占める。